

### 訪問理美容サービスの 事業内容を見直し 導入の再検討を

互 金次郎

(問) 当事業は、利用者が少ないとの判断で、19年度に廃止されたところですが、最近では高齢化が急速に進み、限られた介護施設などには入所ができない在宅介護の方々が増加しています。

近隣市では、利用者の自己負担を住民税課税者は2千円、さらに住民税非課税者は無料とし、低所得の方には一層利用しやすいサービスとして展開している自治体もあります。事業内容を見直し、丁寧な周知を行い、より使いやすいサービスとして再検討しては。

(答)市長 在宅の要介護者は、年々増加しており今後はその利用意向を踏まえて、社会福祉協議会と連携を図りながら、事業について研究します。

### ◆災害時の早期復旧・復興に備 え支援システムの利活用

(問) 被災者情報を総合的に管理する被災者支援システムを、

平時のうちに構築することは重要です。

西宮市が開発した「被災者支援システム」が無償で利活用できますが。

(答)市長 被災者情報の一元管理により被災者の支援が円滑に進められると聞いています。住基情報との関連や各避難所とのネットワークの形成など、課題があると思われませんが研究します。

### 都市計画道路(越谷吉川線)の 進捗状況と雨水対策について

五十嵐恵千子

(問) 中央土地区画整理事業により施工する区間が、さくら通りから整備されています。

①進捗状況と今後の計画は。  
②当該区間の雨水対策計画は。  
(答)都市建設部長 ①延長、約1,620m中、平成20年度は、さくら通りから約210m、平成21年度は、約160mを実施し、進捗率約23%となる予定で、引き続き工事を進める。②当該区間である栄町地区の雨水函渠整備は、9月補正で6路線を整備する予



緑のカーテン ~市役所~

定で、工事完了後は、浸水被害の軽減が図れる。また、都市計画道路南側の既存道路は、道路整備に合わせ、側溝の未整備箇所などの整備を図る。

(問) 8月10日の豪雨で、整備された都市計画道路から多量の雨水が南側の栄町1区に流れ込みました。対策と整備を。  
(答)都市建設部長 エプロン切断部分には応急的に土のうで措置した。今後、雨水が流れ込まないよう、U字溝を設置。また、都市計画道路の側溝は、雨水が円滑に流れ込むように、グレーチングを布設していく。

定を2年に1回実施。また、備品は基準値以下の物を購入。セーフコートは今後研究する。教職員へ対応マニュアル作成を視野に対応する。

雨水函渠整備後の道路整備は、地元住民の意向を聞き進める。

### ◆「緑のカーテン」事業促進 地域推進計画」策定の提案

(答)市長 「緑のカーテン」は現在、一部の公共施設において実施しているが、その他の公共施設についても、可能な限り実施の努力をしていく。  
(答)市民生活部長 当市温暖化防止地域推進計画策定は研究。

### シックスクール問題 対策について

小野 潔

(問) 学校等において化学物質によって頭痛やめまいがするというシックスクール症候群対策について①「学校環境衛生の基準」の当市での適用、環境衛生検査の実施は。②購入備品のイス机、パソコン、床ワックス、芳香剤、消臭剤状況は。③無公害水性封止型塗料セーフコートの使用について。④教職員への意識啓発は。  
(答)教育長 厚労省の定める基準値を下回り、室内濃度の測

定を2年に1回実施。また、備品は基準値以下の物を購入。セーフコートは今後研究する。教職員へ対応マニュアル作成を視野に対応する。

定を2年に1回実施。また、備品は基準値以下の物を購入。セーフコートは今後研究する。教職員へ対応マニュアル作成を視野に対応する。

### ◆集中豪雨による水害対策に ついて

(問) 高久ポンプ場故障対策として豪雨発生5時間前なりに最終チェックのマニユアル化を、けやき通り駅前ガード冠水と駅周辺の車両バニック対策としてガード道路のかさ上げ、通行止め表示の電光掲示板の設置、防災無線の活用で市民に呼び掛け、床上浸水被害へ災害見舞金の支給を。

(答)各部長 マニユアル化は図る、道路のかさ上げは検討、車両迂回方法の検討、防災無線は有効性を検討。災害見舞金は当面見極めていく。

### ◆吉川新駅設置について

(問) ①文化・芸術を感じられる駅を。②自由通路に市のインフォメーションの設置、広告収入の考えは。  
(答)市長 ①モニユメントの設置、②インフォメーション設置、広告収入は図る。

定を2年に1回実施。また、備品は基準値以下の物を購入。セーフコートは今後研究する。教職員へ対応マニュアル作成を視野に対応する。